

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業名	景観まちづくり推進					所管	都市づくり部	
							都市計画課	
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	82	計画事業名	景観まちづくり推進	事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] II-1. 個性を活かしたまちづくりの推進					[事業開始] 平成14年度	
		[小 柱] (2) 快適で利用しやすいまちづくり					[終了予定] - 年度	
		[施 策] ①快適な都市空間と良好な都市景観の創出						
	根拠法令等	条例・規則	[法令等名]	景観法 台東区景観条例				
	事業対象	区民・事業者(公的機関を含む)、台東区全域						
	事業目的	区民及び事業者等と協働して、それぞれの地域の特性を活かしながら、新たな都市景観を創出し、調和の取れた潤いのある景観まちづくりの推進を図る。						
	事業内容	①景観条例に基づく事前協議の受理及び助言、指導 ②景観法に基づく届出の受理 ③景観ふれあいまつりの開催 ④景観まちづくりニュースの発行 ⑤景観協定の認定 ⑥景観審査委員会の開催 ⑦景観審議会の開催 ⑧景観重要建造物・景観重要樹木の指定						
委託の有無	一部委託	委託内容	景観ふれあいまつり運営補助・台東区屋外広告物実態調査等業務委託					
補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (30年度)	26年度	27年度	28年度	
	活動指標	景観事前協議件数	(件)	300	271	293	304	
		景観事前協議が成立した割合	(%)	95.0	95.0	96.0	95.0	
	決算額 (単位:千円)				2,985	9,025	8,073	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			15,662	14,885	14,784	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			735	6,764	5,655	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			2,146	2,054	193	
		総経費			18,543	23,703	20,632	
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0	
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0	
一般財源(区負担額)			18,543	23,703	20,632			
前回評価から改善した事項	景観に対する区民の意識を高めるため、「景観まちづくり賞」を実施した。							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	3	区内の良好な景観を守り育てていくため、景観事前協議等の景観誘導のための方策を活用しながら、地域特性を活かした良好な景観形成を推進していく必要がある。					
	効率性	3	景観行政団体に移行(H23.12~)を機に、景観審査委員会・景観アドバイザー会議を活用することにより、実効性の高い景観指導を行っている。					
	手段の適切性	4	専門性が高く判断が難しい景観指導を景観審査委員会・景観アドバイザー会議で審査し、適正な運用ができています。					
	目的達成度	4	景観まちづくりの実効性を高めるため事前協議による継続的な誘導を行っていくとともに啓発活動にも力を入れている。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
東京オリンピック・パラリンピックを見据えて、来街者の増加が予想される観光拠点の景観整備をさらに強化するとともに、区民の意識啓発を促進し、景観誘導への流れを創出していく必要がある。						維持		